

これからの行事（4月の行事）

- 1日 辞令交付式 支所
- 8日 海星中入学式
- 14日 第1回事務局会議
- 〃 第1回合同定例会
- 15日 主事連絡会 鹿島
- 17日 飯ツーリズム地域振興部会
- 17日 クルーズ船入港
- 17日 会計監査 18：30
- 20日 コミュニティ定期総会
- 24日 コミュニティ自治会説明会 鹿島

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和7年度4月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史傳

令和7年4月26日発行

薩摩川内市下飯町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

コミュニティマーケット完売

去る3月9日恒例のコミュニティマーケットが開催されました。

西山地区コミュニティからは会長、主事、宮野武矩さん、山下和代さん、藤井清美さん、中村了さん、中村和加子さん、中村睦男さん、藤井伸介さんが参加され出品した商品の（うちコッパン餅と草餅は）午前中に完売しました。

画像は西山地区のブースに立ち寄って品定めをされているお客様たちです。常連の方もコッパン餅を買って帰っておられました。

当日はフェリ

ーの更新時期に重なり、ドッグダイヤとなった関係で二泊の出張となりました。そのため多くの発表部門や講演などの行事に参加できて大変有意義な経験でした。



来年もまた出

品し他のコミュニ

ティとも交流

したいです。

大内浦線道路補修なる

3月9日開催のコミュニティマーケットに参加する為、8日早朝長浜港へ向かって出発しました。



たまご石の4叉路に通行止めのコーンが立っていましたので大内浦線の舗装が始まるのだなと思つて通過しました。3月10日2便で帰るときは通行止めは解除されていたので舗装されたのだなと思つて帰宅しました。



直ぐ対応して頂きありがとうございました。

中村史会長表彰

中村会長はコミュニティ協議会会長3カ年3カ年勤続表彰を受けました。



主事が交代しました。

新主事 中村美也子さんです。

頑張ってください。

### お存知の方はお知らせください

タダラメ川水系の防災ダム工事がまもなく始まり  
ます。この防災工事は昭和二十年十月十日に発生し  
た洪水とその後台風によって崩れやすくなった箇  
所の最後の工事のシリーズになるという説明を以前  
受けたことがあります。

昭和二十年瀬々野浦においては死者十八名にも出  
す台風（洪水）がありました。その災害の後処理の  
最後の工事のシリーズになるという説明を依然受け  
たことがあります。当地瀬々野浦においては17名  
の死亡・行方不明者があつたと下飯村の記録で見た  
ことがあります。ところが当時の区長中村傳之丞の  
記録では翌日関連死と思われる一名があつて18名の  
死亡者になりました。

この工事の始まりに当たり薩摩川内市の地籍から  
鹿児島県の地籍に移ったところ坂ノ下 1118-1 に杉  
とヒノキが植えられていて、タダラメ川、上から2  
番目の工事に当たり薩摩川内市の地籍から鹿児島  
の地籍に移ったところ坂ノ下 1118-1 に杉とヒノキ  
が植えられていて、60年くらいの時間がたつてい  
るとのことでした。持ち主をご存知の方がおられま  
したらお知らせください。

鹿児島県に中継いたします。  
80年前のなる自然災害の後処理を計画して頂いて  
大変感謝いたします。

またこの付近の10年位前に小学生を乗せたスクー  
ルバスの進行方向に土砂崩れが発生し、退却を開始

したらその前方に土砂崩れが発生しバスは  
挟み撃ちにあつてしまったということがあり  
ました。安全な道路と河川の保全が早い時間で  
出来る事を期待します。

今回調査対象になつている場所は工事用の  
取付道路ではありません。タダラメ川本流の両  
脇の場所です。

杉とヒノキがあるということです。コミュニ  
ティへの連絡先はこの紙面の「西風」の枠内に  
ありますのでよろしくお願いします。

近くにおられる方でこの紙面を見ることが  
できない方にも可能な限りお伝え下さるよう  
お願い申し上げます。

### 大井出線側溝漏水

見えない場所で側溝が破壊され道路  
下に潜り込んでいました。

山下誠さんから危険個所で報告を受  
けていたのですが、車で走ると草に隠れ  
て見えない場所なので  
つい見過ごしてしまし  
たが4月14日判明し  
早速支所に届けたとこ  
ろ即応急処置をして頂  
きました。ありがとう  
ございました。完全で  
ございました。完全で  
ありませんので通行  
のさいはご注意ください  
い。



### シリーズ25 故郷を深く浅く探る

#### 消えたアマノリ(その2) — 中村史博

前回はアマノリ(アメノイ)の話まで行く予定が  
クレオ(メジナ)談議にはまつて、どこかに消えてし  
まった。表題のようにカンノイは生えるがアメノイ  
が生えなくなっているのである。

海藻類に詳しいわけではないのでカンノイとアメ  
ノイは同一種なのか、あるいは別種なのか、同一種  
であつて雌雄の違いによるのか、時期的な成長によ  
つてよつて違うのかは分からないが、先に生えるの  
がカンノイ。後に生えるのがアメノイということ  
で区別する。

カンノイは堅くて味も良くない。また長いので調  
理するのに切り刻まねばならない。対してアメノイ  
は柔らかく味も良く、カンブウ(香り)も良いとい  
うのが定番である。大根ナマスや高菜の漬物と混ぜて  
食べることも多かった。また味噌汁の具としても磯  
の香りがしてこれまた、おいしいものだった。昭和  
三十年代には佃煮をつくりし始めた。

また、型枠をつくり、アオイ(ススキ)の茎で、ス  
ノコを編んでこれを海苔漉して日干して、板ノリを  
作つたりした。それくらい、多くの人がアメノイを  
取つたが、今日それがあまり生えなくなり、またノ  
イトイ(ノリ採り)に行く人も少なくなつて、表題を  
「消えたアマノリ」とした。

ただしアメノイは消化が悪く沢山食べると下痢を  
する。カンジエ(便所)に何回も駆け込んだ思い出も  
ある。